

工業会 日本万引防止システム協会

西暦2022年度

令和4年度通常総会

議案書

～ 防犯民主主義実現に向けて ～

EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

日時:令和4年6月2日(木) 開催
場所:主婦会館プラザエフ 9階スズラン

認定個人情報保護団体

JEAS 工業会 日本万引防止システム協会

西暦 2022年度

工業会日本万引防止システム協会令和4年度通常総会開催概要

…つながる心で ESG*DX 時代のロス・プリベンション推進!…

- 日時 2022年6月2日(木) 13:30～(受付開始13:00)
 - 主婦会館プラザエフ 第1・2部 9Fスズラン 第3部 8Fスイセン
 - 第1部 総会 (13:30～14:45) <9階スズラン>
 1. 開会
 2. 会長挨拶
 3. 議長選出
 4. 議案
 - 第1号議案: 令和3年度事業報告、収支決算の件
 - 第2号議案: 令和4年度組織・人事の件
 - 第3号議案: 令和4年度事業計画、収支予算の件新役員挨拶、新会員への会員証授与、記念写真
 5. 閉会 (14:00頃を予定)
 6. 感謝状贈呈
 - 東京都立大学法学部教授 星周一郎先生、福井昂 顧問・元 JEAS 総務委員長
 - 第2代 JEAS 事務局長・元技術基準委員会委員 瀬澤外茂幸様
 7. 2021年万引防止システム&AI カメラの市場規模等に関する調査報告
 8. 第2回科学保安講習会の開催報告について
 9. 第3回推奨顔認証システム制度の開催について
 10. JEAS 個人情報保護指針第3版と関連冊子について
 11. ロス対策士育成に向けて～報奨制度創設～について
 - 第2部 記念講演会 (15:00～16:45) <9階スズラン>
 1. “防犯システムと人的警備の融合 <仮題>”
 - 仙台大学 体育学部 准教授 田中 智仁先生
 2. “米國小売業に学ぶ、小売業の未来像<仮題>”
 - パナソニックコネクト (株)インダストリーストラテジスト 大島 誠様
 - 第3部 意見交換会 (17:00～18:30) <8Fスイセン>
 - 来賓挨拶 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 豊永 厚志様
 - 特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構 理事長 竹花 豊様
- なお、感染拡大等により第3部意見交換会は中止や規模縮小になる場合があります。

【オンライン配信】

新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年も総会及び記念講演については会場参加の人数制限をいたします。オンライン参加の皆様へは、活動報告・記念講演の映像配信 (Microsoft Teams 配信等) を準備しております。

工業会 日本万引防止システム協会(JEAS) <工業会活動の主旨>

当工業会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために以下の活動を行う。

1. 万引防止システムの円滑な普及、発展に資する制度・政策・計画等を建議し、実行する。
2. 行政機関、関連団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整を行う。
3. 万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とした活動を行う。

西暦 2021 年度

(第 1 号議案) 令和 3 年度事業報告、収支決算の件

1. 事業の概要

みなさまのお蔭をもちまして 6 月 3 日で設立 21 年目を迎えます。平成 30 年には経済産業省より EAS と防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和 2 年 9 月に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する産業団体に成長しております。

さて、最近の万引犯罪の状況ですが、我が国の刑法犯認知件数がピークの平成 14 年の 285 万件が令和 3 年には 57 万件と 4 分の 1 減以下となる中で、万引犯罪の認知件数は 14 万件/平成 14 年から 9 万件/令和 3 年へと減少傾向は弱く、その構成比は全刑法犯認知件数の 4.9%から 15.2%に増加しています。またその特性としても高齢者の犯罪が少年を上回る社会的問題化や組織的万引で高額被害事案が増加するなど、万引犯罪の複雑化、国際化、悪質化が目立ってきています。

(1) その対策に向けて、進化する顔認証システムを活用した第 1 回科学保安講習会(※1)を昨年 10 月に開催しました。科学保安講習会では、当工業会が認定した顔認証システム<マスク対応プラス>4 機種の実践的活用方法に加え、個人情報保護法遵守の内容が織り込まれました。4 月からの改正個人情報保護法施行に向け、防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め 2021 年度版、顔画像を利用した来店客検知システム 2021 年度版(※2)を準備しました。

(2) 万引防止システムの市場調査を 2 月に開始しました。前回の顔認証システムの市場調査に加えて、AI カメラの会員が多数会員に加わったことを鑑み、今回初めて AI カメラの市場規模と個人情報等の安全措置の調査内容を加えました。調査では会員以外の AI カメラを扱っている企業にも協力を要請しております。

(3) 当工業会は設立以来、各種法令順守、機器の安全運用に尽力して参りました。昨年は 5 月には東京丸の内法律事務所 村田和希弁護士の「情報システム・モデル取引・契約書第二版」セミナー、9 月には東京都立大学 多氣昌生名誉教授の「EAS 装置からの磁界の人体暴露と安全性」セミナー(※3)、10 月には日本情報経済社会推進協会(JIPDEC) 常務理事 坂下哲也氏の「画像等個人情報の越境問題とデータ利活用、等有識者によるセミナーを積極的に開催しております。

その他、無人店舗・セルフレジ・業務効率化などの DX 推進事例の調査をする DX 推進プロジェクトを立ち上げました。さらにユーザー様向けの公式ロス対策メルマガ配信を開始しました。今後も安全・安心のために向けたつながりの輪を構築して参ります。

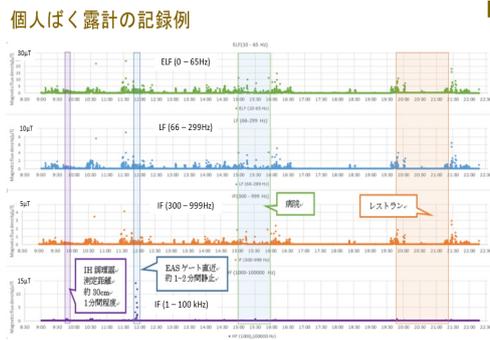
(※1) 科学保安講習会



(※2) 新ガイド



(※3) 多氣先生セミナー資料より



2. 工業会の活動報告

< 理事会 >

令和3年4月23日
令和3年6月3日(総会)
令和3年7月8日
令和3年9月10日
令和3年12月10日
令和4年2月3日

< 運営委員会 >

令和3年4月23日
令和3年7月8日
令和3年9月10日
令和3年12月10日
令和4年2月3日
令和4年3月15日

3. 各委員会活動報告

(1) ユーザー団体幹部との万引犯罪防止対策会議、関係官庁よりの連絡対応及び委員派遣

※はオンラインでの参加

- ・4月22日 万防機構 集団窃盗対策会※
- ・5月12日 東京都立大名誉教授 多氣昌生教授と電波の人体暴露調査結果報告会議※
- ・5月13日 万防機構 壁新聞&保護者リーフレット作成委員会※
- ・5月14日 万防機構 LP教育制度委員会※
- ・5月19日 万防機構 理事会※
- ・5月20日 万防機構 集団窃盗対策会※
- ・5月21日 万防機構 渋谷書店万引対策共同プロジェクト
- ・5月30日 日経DXセミナー(最新の小売業事例)※
- ・6月4日 万防機構 壁新聞&保護者リーフレット作成委員会※
- ・6月11日 万防機構 LP教育制度作成委員会リモート※
- ・6月15日 万防機構 通常総会・記念講演会・ロス対策年間チャート発表
- ・6月17日 トーチリレー社と講演依頼の打ち合わせ※
- ・6月17日 万防機構 集団窃盗対策会※
- ・6月23日 パナソニック社 米國小売業セミナー(大島氏)※
- ・6月24日 万防機構 記者会見「ロス対策士、保護者リーフレット、壁新聞、小売業調査」
- ・7月3日 PIAのビジネス化勉強会※
- ・7月6日 万防機構 第1回ロス対策士試験※
- ・7月9日 セルフレジ不正情報交換会※
- ・7月14日～15日 JEAS ペガサス政策セミナー※
- ・7月15日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・7月16日 JEITA 情報端末フォーラム2021※
- ・7月20日 経済産業省・総務省・JIPDEC 共催「企業のプライバシーガバナンスセミナー」※
- ・7月21日 パナソニック社 米國小売業セミナー(大島氏)セミナー※
- ・7月29日 JIPDEC 非法務部門が知っておきたい改正個人情報保護法の実務対応ポイントセミナー※
- ・8月10日 セキュリティ産業新聞 科学保安対談・取材対応
- ・8月11日 全国スーパーマーケット協会訪問
- ・8月25日 万防機構 理事会※
- ・8月26日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・8月31日 ペガサスの渥美六雄先生と打ち合わせ
- ・9月9日 日本DIY・ホームセンター協会訪問

- ・9月14日 竹中エンジニアリング社訪問、セキュリティハウス社訪問
- ・9月28日 万防機構 評議会※
- ・9月30日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・10月11日 IPA デジタルシンポジウム 2021※
- ・10月11日 東京万引き防止官民合同会議 志村坂上署の養成講座講師
- ・10月12日 東京万引き防止官民合同会議 高井戸署の養成講座講師
- ・10月19日 万防機構 LP 教育制度作成委員会※
- ・10月28日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・10月15日 日本防犯設備協会 カメラ画像セミナー
- ・10月19日 東京万引き防止官民合同会議 世田谷署の養成講座講師
- ・10月23日 万防機構 東京都中野区桃花小学校での講演
- ・11月11日 東京万引き防止官民合同会議委員長会議
- ・11月17日 万防機構 LP 制度作成委員会※
- ・11月24日 万防機構 運営委員会※
- ・11月24日 万防機構 ロス対策士セミナー※
- ・11月26日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・12月1日 東京万引き防止官民合同会議※
- ・12月9日 一般社団法人建設プロジェクト運営方式協議会 マイケルサンデル倫理セミナー※
- ・12月7日 店舗 DX 展示会
- ・12月14日 日本防犯設備協会訪問 市場規模調査について
- ・12月22日 万防機構 理事会※
- ・12月23日 万防機構 集団窃盗対策会議※
- ・1月13日 日本ボランタリーチェーン協会 セミナー&賀詞交歓会
- ・1月28日 沖縄県防犯設備協会 講演※
- ・1月19日 万防機構 LP 教育作成委員会※
- ・1月26日～27日 ペガサス政策セミナー※
- ・1月26日 日本小売業協会 セミナー※
- ・2月8日 万防機構 富士通副会長(元警視総監)・富士通フロンテック社長会合
- ・2月10日 JIPDEC セミナー「経済産業省 令和4年度デジタル関連施策について」セミナー※
- ・2月10日 万防機構 個人情報保護委員会※
- ・2月17日 茨城県防犯設備協会設立会議※
- ・2月22日 日警保安創業者お別れの会
- ・2月24日 万防機構 集団窃盗合同会議
- ・2月25日 万防機構 運営会議※
- ・2月25日 万防機構 LP 教育制度作成委員会※
- ・2月25日 万防機構 渋谷書店万引対策共同プロジェクト※
- ・3月2日 JIPDEC 個人情報・プライバシーに配慮したカメラ画像の利活用に向けてセミナー
- ・3月2日 総合防犯士会総会
- ・3月17日 LP 教育制度作成委員会※
- ・3月23日 万防機構 評議員会議
- ・3月25日 店舗プランニング 改正個人情報保護法セミナー
- ・3月28日 セコム社 東京事業部本部長訪問
- ・3月23日 万防機構 評議員会議

(2) 政策・研究委員会

開催:令和3年4月15日、7月1日、9月2日、12月3日、令和4年1月20日

- ・5月12日 契約書の基礎講座、5月19日 モデル契約書講座
- ・11月11日 JEAS 20周年記念講演(トーチリレー社)
- ・市場規模調査実施(市場調査票の発送 94社 自動認識システム協会協力)

(3) DX 推進プロジェクト

・開催:政策・研究委員会と同時開催

- ・4月23日 15分勉強会「スーパーマーケット白書の要点」講師
- ・11月11日 JEAS20周年記念・DX 推進行事「心に火を灯す」セッション開催

(4) 技術基準委員会

開催:令和3年4月16日、7月2日、9月3日、12月2日、令和4年1月21日

- ・東京女子医科大学を中心とした中間周波の調査への協力(AM方式)
- ・北大の干渉テストの継続、3社3システムを実施。
- ・8月6日 JEAS 自鳴式タグの製造・輸入に関わる担当者緊急会議
- ・9月14日 JEAS 京都地裁 自鳴式大量万引事案の公判傍聴
- ・9月29日 EAS 装置からの磁界の人体ばく露と安全性&技術セミナー

(5) カメラ画像安全利用推進委員会

・開催:令和3年4月15日、7月1日、9月2日、12月3日、令和3年1月20日

- ・9月21日 JR 東日本 顔認証システム問題の緊急会議開催
- ・10月7日 ・第2回推奨顔認証システム<マスク対応プラス>審査4社の審査会
- ・1月28日 JEAS 二つの冊子修正緊急会議 リモート会議
- ・PIA 対応と認定個人情報保護団体の企画
- ・科学保安講習会講師
- ・二つの画像冊子の改定

(6) 科学保安講習プロジェクト

開催:カメラ画像安全利用委員会と同時開催

- ・9月17日 保安警備基礎講習開催
- ・10月14日 科学保安講習会事前練習会
- ・10月22日 科学保安講習会開催 32名参加
- ・11月17日 市川ビル様で、科学保安・LP 推進店の審査 第1号店ステッカー贈呈式
- ・2月3日 改正個人情報保護法の令和4年4月施行に合わせ、2つの冊子を改訂
 - ①防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め 2021年度
 - ②画像を利用した来店客検知システム 2021年度版

(7)個人情報管理室

開催:カメラ画像安全利用委員会と同時開催

- ・8月27日及び30日 個人情報委員会主催の第5回認定団体連絡会で発表
- ・9月28日 PIA 研修会(実践編入門コース)開催。受講者3名
- ・10月28日 リテールテック OSAKA の「画像等個人情報の越境問題とデータ利活用」セミナーを開催
- ・11月9日 認定個人情報保護団体セミナーでパネルディスカッションに登壇
- ・2月3日 改正個人情報保護法の令和4年4月施行に合わせ、2つの冊子を改訂
 - ①防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め 2021年度
 - ②画像を利用した来店客検知システム 2021年度版
- ・3月28日 個人情報保護改正前の駆け込み勉強会

(8)総務委員会

開催:令和3年4月16日、7月2日、9月3日、12月2日、令和4年1月21日

・<令和3年度の通常総会・記念総会>

令和3年6月3日(木)14:00 主婦会館プラザエフ

◇感謝状対象者:東京都立大学 多氣昌生名誉教授、内藤正美理事

◇記念講演

- ①万引を生きる手段にさせないために一犯罪行為の背景に目を向ける東京都立大准教授 掛川直之氏
- ②コロナで進展した中国の技術・社会変容 新エネルギー・産業技術総合開発機構 高木 重孝氏
- ・海外から来られた新たな仲間(3)
- ・ロス対策メルマガ開始 135名登録
- ・4月7日 教育ビデオ「日経・お店の万引き対策ビデオ」の上映会
- ・12月13日 JEAS ロス対策士セミナー(ユーザー関係も参加)
- ・10月28日～29日リテールテック osaka2021 出展<
- ・3月1日～3月4日セキュリティショー2022 出展
- ・3月3日セキュリティショーセミナー「AIカメラの最新導入例(防犯・商業利用)&個人情報の安全対策」
- ・JEAS 会報 35号と36号作成
- ・HP 閲覧数上期前年比 71.6(前年 120.8)%, 下期前年比 80.3(前年 75.1)%, FB フォロア 62(昨年 48)名
- ・JEAS ステッカー及びPOPの普及 発送計 本年 9,300枚(前年 18,500枚)(前前年 7,900枚)
- ・工業会の申請受付 本年 112件(前年 99件)(前前年 42件)

<パブリシティー>

セキュリティ産業新聞 5月10日号 JEAS20年史 愛と忍耐と決意*つながる心

セキュリティ産業新聞 6月10号 市場拡大へ施策を推進

警備新報 6月5日・15日合併号 コロナ禍2年目の対策徹底総会

警備保障タイムズ 6月21日号 新プロジェクト創設し活用へ

セキュリティ産業新聞 6月25日号 東西共通理念‘野に生きよう’防犯DXに纏わる2つの制度
セキュリティ産業新聞 7月25日号 犯罪防止の取組みと善良な人々の人権との折合い
読売新聞 8月5日号「家電量販店で万引き容疑の男、警報鳴らないようにした？」
警備新報 8月5日号 新制度スタート 科学保安講習会 保安警備基礎講習
セキュリティ産業新聞 8月10日号 未来を悲観せず高齢者万引に取組めば世界は慈しみ光に包まれる
警備保障タイムズ 9月1日号座談会開催「テーマは科学保安講習会」
セキュリティ産業新聞 9月10日号 科学保安講習会に向けての座談会～保安警備の夢～より
警備保障タイムズ 10月1日号 保安警備の基礎講習
警備新報 10月5日号 保安警備基礎講習を開催（1）
警備新報 10月15日・25日合併号 保安警備基礎講習を開催（2）
警備保障タイムズ 11月1日号 初の科学保安講習会
新聞之新聞 11月4日号 万引防止に顔認証システム
警備新報 11月5日号 第1回科学保安講習会
セキュリティ産業新聞 11月10日号 科学保安講習会を初開催
セキュリティ産業新聞 11月25日号 内なるLP道 工業会 JEAS 初の科学保安講習会開催
警備新報令和3年12月5日15日合併号 ロス対策士検定制度
セキュリティ産業新聞 12月25日号 人々と共に・個人情報保護法改正はSDGsの良き実践例へ
警備保障タイムズ令和4年元旦号 「ロス対策士検定」事前セミナー開催
警備新報令和4年元旦号 新年あいさつ
セキュリティ産業新聞令和4年1月10日号 新年あいさつ
セキュリティ産業新聞1月25日号 参加求む工業会初！AIカメラ市場規模と安全措置の調査
セキュリティ産業新聞2月10日号 沖縄県防犯設備協会の防犯スキルアップセミナー
セキュリティ産業新聞2月25日号 改正個人情報法施行 開示請求対応と犯罪対策効率化の転換点
ダイヤモンド・リテイルメディア3月15日号 個人情報保護法の改正に合わせ画像関係の2冊子改訂
セキュリティ産業新聞3月25日号 ダメ！と言える勇気をもって、違法行為を止める友が真の友

<会員の増減>

正会員入会2社 : アースアイズ(株)、AWL(株)
賛助会員入会3社 : 亜細亜印刷(株)、(株)アスラボ、丸紅(株)
正会員退会1社 : (株)SGI
賛助会員退会1社 : 沖電気工業(株)

4. 会員名簿

【正会員】

企業・団体名
アイアンドティテック(株)
IDEC ファクトリーソリューションズ(株)
AWL(株)
アクシスコミュニケーションズ(株)
アースアイズ(株)
アドセック(株)
(株)エイジス
NECソリューションイノベータ(株)
エム・ケー・パビック(株)
(株)オカムラ
(株)キャトルプラン
(株)杏林社
グローリー(株)
(株)ゴジョウ・ウエイズ
(株)KSM
サクサ(株)

企業・団体名
(株)セキュリティデザイン
CIA(株)
(株)GeoVision
シグマ(株)
セコム(株)
セフトHD(株)
高千穂交易(株)
タカヤ(株)
チェックポイントジャパン(株)
(株)店舗プランニング
日本電気(株)
パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)
ビブリオテカ・ジャパン(株)
マイティキューブ(株)
Matsuo Sangyo(株)
(株)三宅

正会員数 32 社

【賛助会員】

企業・団体名
(株)アスラボ
亜細亜印刷(株)
サニーヘルス(株)
(株)JSS
(株)自己啓発協会
三愛化成商事(株)
チェスコムアドバンス(株)
(株)日本保安
丸紅(株)
(株)ロケット

【特別会員】

企業・団体名
公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO 法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人リテール AI 研究会
タグ&バック事務局

※50 音順(2022 年 3 月 31 日現在)

5. 令和 3 年度収支報告

令和3度(第二十期)収支報告書案

令和4年3月31日

収入			支出		
	予算	実績		予算	実績
前期繰越額	5,054,579	5,054,579	1. 公益事業	7,721,056	6,160,917
1. 公益事業	8,985,000	8,605,900	(1)人件費	305,556	305,556
(1)会費収入	4,400,000	4,710,000	(2)家賃	712,800	712,800
正会員 30社	4,020,000	4,000,000	(3)事業活動費	6,324,700	4,849,281
賛助会員 7社	200,000	280,000	①旅費交通費	70,000	121,910
新規加入 5社	180,000	430,000	②通信費	316,000	378,589
(2)総会会費・新年会会費	0	0	③交際費	50,000	23,160
(3)ステッカー・POP売上	1,010,000	922,900	④会議費(会場費他)	118,000	154,026
(4)調査・研究受託事業	2,875,000	1,645,000	⑤事務用消耗品	198,000	128,301
(5)設備証明書発行事業	700,000	1,328,000	⑥運賃(宅配・メール便)	134,000	48,548
2. 収益事業	150,000	175,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	852,700	688,534
(1)教育事業	150,000	175,000	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,884,000	1,718,370
(2)出版事業	0	0	⑨支払手数料	25,000	21,142
3. その他	0	2,853	⑩租税公課	110,000	10,210
(1)受取利息	0	53	⑪雑費	10,000	0
(2)雑収	0	2,800	⑫図書費	86,000	80,491
(単年度収入計)	9,135,000	8,783,753	⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	121,000	176,000
			⑮機器評価	2,350,000	1,300,000
			(4)総会費用	378,000	293,280
			2. 収益事業	1,328,356	1,358,396
			(1)人件費	305,556	305,556
			(2)家賃	712,800	712,800
			(3)収益事業等の制作費と教育費	290,000	340,040
			(4)予備費	20,000	0
合計	14,189,579	13,838,332	合計	9,049,412	7,519,313
			次年度繰越残高	5,140,167	6,319,019
総計	14,189,579	13,838,332		14,189,579	13,838,332

監査報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度における会計及び業務の監査を行ない次の通り報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事会及び理事からの業務の報告を聴取し、理事会に出席し、監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの期間における当工業会の収支計算書類は適正かつ正確であり、指摘すべき事項は認められませんのでここにご報告申し上げます。

令和4年 6月 2日

工業会 日本万引防止システム協会

監事

森 雅裕 

同

山根 久和 

西暦 2022 度

(第2号議案) 令和4度の組織、人事の件

令和 4 年度は 2 年毎の改選時期にあたるため、理事及び監事については、以下のとおり令和 4 年度より任期 2 年で就任をお願いします。

工業会 日本万引防止システム協会役職 (案)

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易(株)	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
	副会長	セフトHD(株)	代表取締役社長	山根久和(新任)
4	理事 (政策・研究委員会)	IDEC ファクトリーソリューションズ(株)	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
5	理事 (政策・研究委員会)	キャトルプラン(株)	代表取締役社長	佐藤圭三
6	理事 (政策・研究委員会)	(株)セキュリティデザイン	資材購買部長	那谷幸平
7	理事 (政策・研究委員会)	(株)店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
8	理事 (政策・研究委員会)	日本電気(株)	関東甲信越支社 産業第二営業部	摺田祐司
9	理事 (政策・研究委員会)	ビブリオテカ・ジャパン(株)	営業部部長	松崎泰二
10	理事 (総務委員会)	マイティキューブ(株)	代表取締役社長	本川勝広
11	理事 (総務委員会)	(株)オカムラ	商環境事業本部 セールスサポート部	雑賀真良
12	理事 (総務委員会)	(株)エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 (総務委員会)	NECソリューションイノベータ(株)	九州支社第二グループクラウドテクノロジー グループクラウドテクノロジーグループ シニアプロフェッショナル	上野順子
14	理事 (事務局長、技術基準委員会)	タカヤ(株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
15	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	グローリー(株)	国内カンパニー営業本部 画像認識ソリューション推進統括部 生体・画像認識販売企画部 販売企画グループ グループマネージャー	山本健二
16	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	(株)GeoVision	企画営業部チーフ	桑原春奈

17	理事 (個人情報管理室)	(株)ゴジョウ・ウエイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo(株)	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ (株)	シニアアカウントマネージャー (リテール)	森川真次(新任)

敬称略・順不同

顧問

佐藤 聖 (一財) 流通システム開発センター 元調査部長、福井 昂 元マイティキューブ(株)顧問
井出尊信 高千穂交易(株) 代表取締役社長

委員会

1. 総務委員会
【委員長】：近江氏 【委員】：福井氏、米山氏、雑賀氏、上野氏、田中崇氏、松永氏
2. 政策・研究委員会
【委員長】：摺田氏 【委員】：佐久間氏、谷氏、那谷氏、松崎氏、飛永氏、佐藤圭三氏
3. 技術基準委員会
【委員長】：田丸氏 【委員】：松尾氏、多ヶ谷氏、小嶋氏【新任】
4. カメラ画像安全利用推進委員会
【委員長】：三宅氏 【委員】：山本氏 (WG長)、摺田氏、新井氏、桑原氏、井上氏、水野氏【新任】

プロジェクト

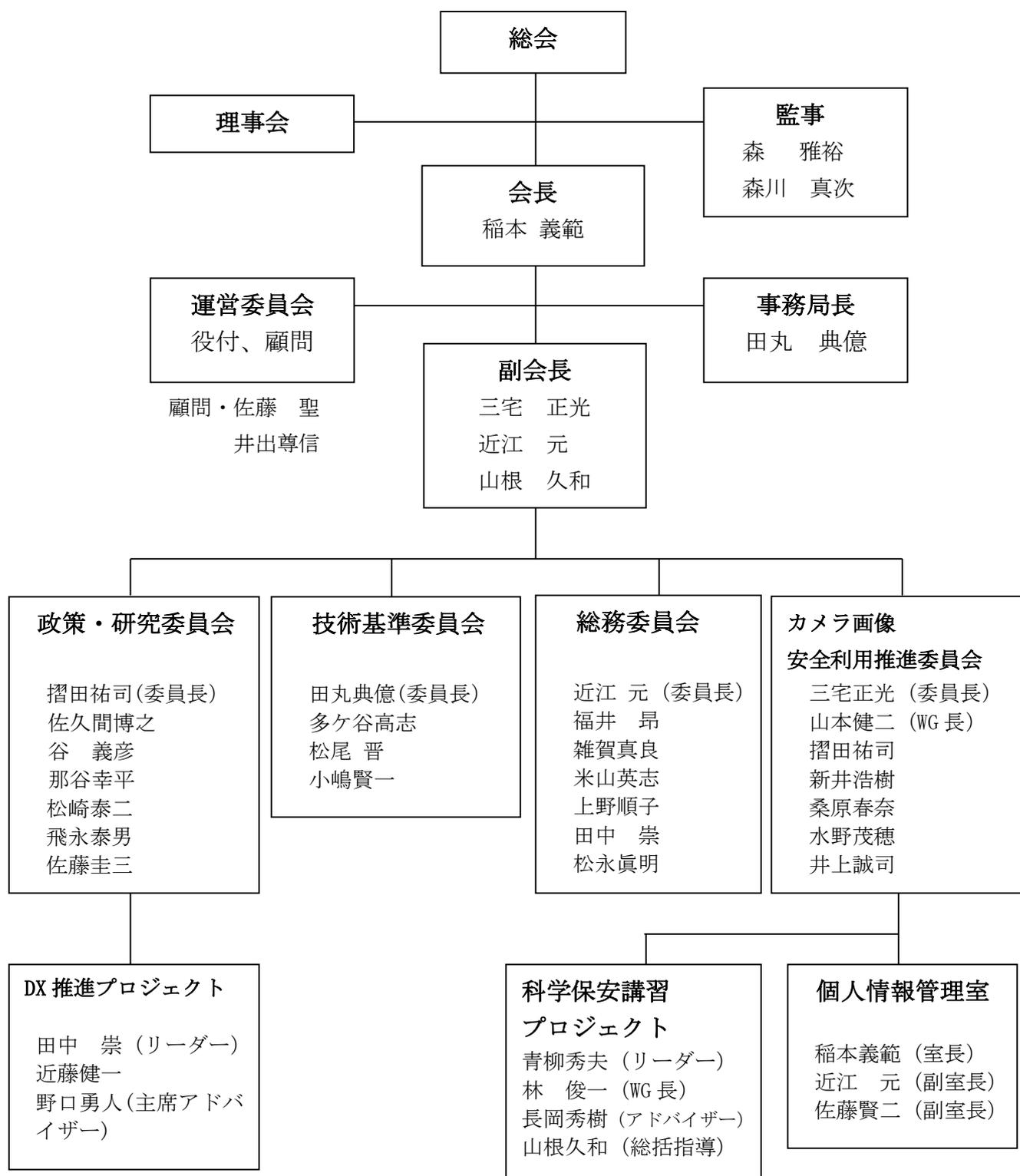
1. 科学保安講習プロジェクト
【リーダー】：青柳氏 【委員】、林氏 (技術 WG 長)、長岡氏 (データ活用アドバイザー)、
山根氏 (総括指導)
2. DX 推進プロジェクト
【リーダー】：田中崇氏 【委員】 近藤氏
【主席アドバイザー】 セキュリティ産業新聞社 編集長 野口勇人氏

個人情報管理室

【室長】：稲本氏、【副室長】 近江氏、【副室長】 佐藤賢二氏

(順不同)

【令和4年度 工業会 日本万引防止システム協会組織図】（案）



(第3案) 令和4度事業計画、収支予算の件

1. 事業計画

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会的実現に向けてJEASの役割を果たそう！
防犯民主主義実現の旗の下、EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

本年度、当工業会では、以下の観点で事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：つながる心でESG*DX時代のロス・プリベンション推進！

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・リテールテックOSAKA2022にブース出展、セミナー開催 7月21日～7月22日
 - ・危機管理産業展2022 セミナー開催協力 10月5日～10月7日<新>
 - ・セキュリティショー2023 ブース出展、セミナー開催 2月28日～3月3日
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動・
 - ・通常総会記念講演会 6月2日
 - ・2022年度ロス対策年間チャートの制作と配布
 - ・万引防止システムハンドブック第4版の作成 <新>
 - ・新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会FBやメルマガでの各社紹介
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会/JEASメール/JEASフェイスブック等での情報提供
 - ・第2回科学保安講習会開催 11月18日 第2回科学保安前講習開催 10月21日
 - ・第7回JEAS講習会 7月14日
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EASステッカーやEAS導入店表示POP の普及促進、北大での干渉テストの継続実施
- 5) 無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査
 - ・DX推進プロジェクトの継続、DX推進流通業の視察<新>
 - ・AI関係やDX推進の団体やコンソーシアムとの連携<新>
- 6) 機器の信頼性アップのための対策推進
 - ・第3回推奨顔認証システム審査 9月12日、13日、16日、20日、21日 書店会館
 - ・推奨顔認証ステッカーの普及促進
 - ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得
- 7) 解除器の盗品流通防止活動
 - ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続
- 8) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
 - ・「万引きに関する関係法令2012」の見直し<新>
 - ・4月1日施行の改正個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力
- 9) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動
 - ・2021年万引防止システム市場の調査と発表 <新>
 - ・海外から来られた新たな仲間の紹介
 - ・ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度の継続など）
- 10) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
 - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省と連携
 - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体と連携

2. 令和4年度事業予算案

<収入予算案>

前期繰越額	・ ・ ・	6,319,019	
1. 公益事業	・ ・ ・	8,184,000	
・ 会費収入	・ ・ ・	5,010,000	
正会員	・ ・ ・	4,430,000	32社
賛助会員	・ ・ ・	400,000	10社
新規加入	・ ・ ・	180,000	7のランク2社の目標
・ ステッカー・POP売上	・ ・ ・	950,000	ステッカー計1万枚
・ 調査・研究受託事業（機器評価）	・ ・ ・	1,295,000	干渉テスト3機種、奨顔認証2機種
・ 設備証明書発行事業	・ ・ ・	869,000	80件
・ 総会参加費	・ ・ ・	60,000	意見交換会参加費
2. 収益事業	・ ・ ・	160,000	
・ 教育事業	・ ・ ・	160,000	JEAS講習会、科学保安講習
3. その他	・ ・ ・	0	
・ 雑収	・ ・ ・	2,800	ガイドブック販売
今期収入計	・ ・ ・	8,346,800	
収入計（前期繰越金含む）	・ ・ ・	14,665,819	

<支出予算案>

1. 公益事業	・ ・ ・	7,214,356	
(1) 人件費	・ ・ ・	305,556	
(2) 家賃	・ ・ ・	712,800	
(3) 事業活動費	・ ・ ・	5,573,000	
・ 旅費交通費	・ ・ ・	120,000	リテールテックOSAKA出張他
・ 通信費	・ ・ ・	379,000	回線使用料14万6千円、電話代9万3千円、郵送代14万円
・ 交際費	・ ・ ・	23,000	団体・講師の土産他
・ 会議費（会場費他）	・ ・ ・	160,000	会場費8万5千円、お茶代等
・ 事務用消耗品	・ ・ ・	120,000	PC関連4万円、トナー1万5千円、コピー3万5千円、他文具3万円
・ 運賃	・ ・ ・	50,000	宅配5万円

・印刷費(ステッカー・リーフレット)	・・・909,000	POP制作57万円、封筒印刷3万円、冊子増刷7万円、市場調査報告書5万円、会員証8千円、認定証2万千円、協会パンフレット6万円、修了証4万円、感謝状1万、JEAS講習会2万円、名刺9千円、総会印刷2万2千円
・宣伝広告費(HP・広報・調査)	・・・1,900,000	35号36号会報29万1千円、HP5万円、セキュリテイ産業新聞広告8万8千円、セキュリテイショー26万円、市場規模調査40万円、リテールテック大阪25万、万防機構会報広告2回24万円、委員会活動(ハンソブック調査費)5万円、冊子制作2万円、書き起こし3万1千円、メルマガ配信5万円、ロス対策士報奨14万円、取材費2万円他
・支払手数料	・・・25,000	
・租税公課	・・・110,000	一般社団の申請費用
・雑費	・・・10,000	
・図書費	・・・156,000	新聞関係12万6千円、図書代他3万円
・会費	・・・176,000	万防機構5万円、日本心臓ペースメーカー友の会1万円、小売業関係10万円他
・機器評価(干渉試験/顔認証)	・・・1,435,000	北大テスト3機種85万5千円、推奨顔認審査費用他
(4)総会費用	・・・623,000	会場費54万5千円円、車代6万円、お土産代1万8千円
2. 収益事業	・・・1,128,356	
(1)人件費	・・・305,556	
(2)家賃	・・・712,800	
(3)収益事業等の制作費と教育費	・・・90,000	JEAS講習会と科学警備
(4)予備費	・・・20,000	
合計	・・・8,342,712	
次年度繰越残高	・・・6,323,107	

西暦 2022 年度
令和4年度(第二十一期)予算案

収入			支出		
	(昨年度実績参考値)	予算		(昨年度実績参考値)	予算
前期繰越額	5,054,579	6,319,019	1. 公益事業	6,160,917	7,214,356
1. 公益事業	8,605,900	8,184,000	(1)人件費	305,556	305,556
(1)会費収入	4,710,000	5,010,000	(2)家賃	712,800	712,800
正会員 32社	4,000,000	4,430,000	(3)事業活動費	4,849,281	5,573,000
賛助会員 10社	280,000	400,000	①旅費交通費	121,910	120,000
新規加入 2社	430,000	180,000	②通信費	378,589	379,000
(2)総会会費・新年会会費	0	60,000	③交際費	23,160	23,000
(3)ステッカー・POP売上	922,900	950,000	④会議費(会場費他)	154,026	160,000
(4)調査・研究受託事業(干渉/顔)	1,645,000	1,295,000	⑤事務用消耗品	128,301	120,000
(5)設備証明書発行事業	1,328,000	869,000	⑥運賃(宅配・メール便)	48,548	50,000
2. 収益事業	175,000	160,000	⑦印刷費(ステッカー・リーフレット)	688,534	909,000
(1)教育事業	175,000	160,000	⑧宣伝広告費(HP・広報・調査)	1,718,370	1,900,000
(2)出版事業	0	0	⑨支払手数料	21,142	25,000
3. その他	2,853	2,800	⑩租税公課	10,210	110,000
(1)受取利息	53	0	⑪雑費	0	10,000
(2)雑収	2,800	2,800	⑫図書費	80,491	156,000
(単年度収入計)	8,783,753	8,346,800	⑬福利厚生費	0	0
			⑭会費	176,000	176,000
			⑮機器評価(干渉試験/顔認証)	1,300,000	1,435,000
			(4)総会費用	293,280	623,000
			2. 収益事業	1,358,396	1,128,356
			(1)人件費	305,556	305,556
			(2)家賃	712,800	712,800
			(3)収益事業等の制作費と教育費	340,040	90,000
			(4)予備費	0	20,000
合計	13,838,332	14,665,819	合計	7,519,313	8,342,712
			次年度繰越残高	6,319,019	6,323,107
総計	13,838,332	14,665,819		13,838,332	14,665,819



TOP interview

いんたびゅー

稲本 義範 さん

(工業会 日本万引防止システム協会 会長)

万引防止——警備業ヒューマン・インタビュアー

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

E.A.S.を販売する各社は総務省などから2001年、機器が発する電波によるペースメーカーなど医用機器への影響について問い合わせを受けました。その指導にちなみ安全な普及を進めるために翌年、J.E.A.S.が設立されたのです。工業会指定の検査機関で試験を行い、合格した機種には「E.A.S.ステッカー」を貼付してもらうなど安全対策を図る活動が認められ、経済産業省から18年に「E.A.S.ステッカー」を貼付してもらった。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

科学の力で保安警備支援

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

△万引きは、高齢者による犯人や外国人などプロ集団の大量窃盗などが社会問題になっていきます。先進技術を活用した防犯対策への期待が高まっているそうですね。

「J.E.A.S.」を略称とする工業会 日本万引防止システム協会は、設立から20年を迎えました。E.A.S.とは万引防止システムのことで、店舗や図書館から不正な持ち出しがあると警報音などで知らせます。現在国内で約25万台が活用されています。

や普及のための研修会などを積極的に進めています。「セキュリティショー」などの展示会での安全利用に関するセミナーの開催、公式SNSの配信も行い、セキュリティシステムを扱う店舗や警備会社に向けて個人情報保護法への対応について呼び掛けています。

△顔認証システムの性能審査も行っているそうですね。

一口に顔認証システムとい

も認識性能が著しく劣るもの、情報セキュリティやマニュアルの内容に不備があるものが少なからずあります。ユーザーや警備現場の視点から役立つシステムを提供することは当工業会の責務と捉え、20年にスタートさせたのが推奨顔認証システム制度です。

この制度は個人情報保護法を遵守し、その運用が満足できるシステムを推奨する自主認定制度です。推奨基準としては、小売業の利用者が目的に合う使い方ができるように取扱説明書の記載内容が明確に指示します。個人情報保護法に際して「カメラ画像の利活用を行なう際に注意する点」等の記載があり、性能面では誇大性能表示にならないように測定方法を明確化することなどを定めています。

現在、マスク着用時の検知精度試験も行っており、パナソニック、グロリー、NEC、ジオビションの4社のシステムが合格しました。それらのシステムは実際に市場評価が高く、商品のロス削減などで大きな効果を生み出しています。

△顔認証を法に遵守して効果的に活用するため昨年10月、警備会社などを対象に「第1回科学保安講習会」を開きました。

誤認逮捕のリスクやシステム化の遅れ、低い生産性、人手不足など保安警備の課題を打開するため、顔認証システムを活用した新たな保安警備サービスを適法に実施する手助けをすることが講習会の趣旨です。受講者には「次世代に保安警備を継承していくためには科学の力を活用することが必

要と理解していただきました。研修を修了した「科学保安員」となるメリットとして、当協会が作成した確認表を使った店舗診断があります。診断に合格すれば店頭ステッカーを貼付し防犯対策を講じた店舗であることを表示でき、犯罪の抑止にもつながります。第2回科学保安講習会は11月18日に予定しています。

△協会では会員以外の警備業関係者も受講できる講習会を開いていると。

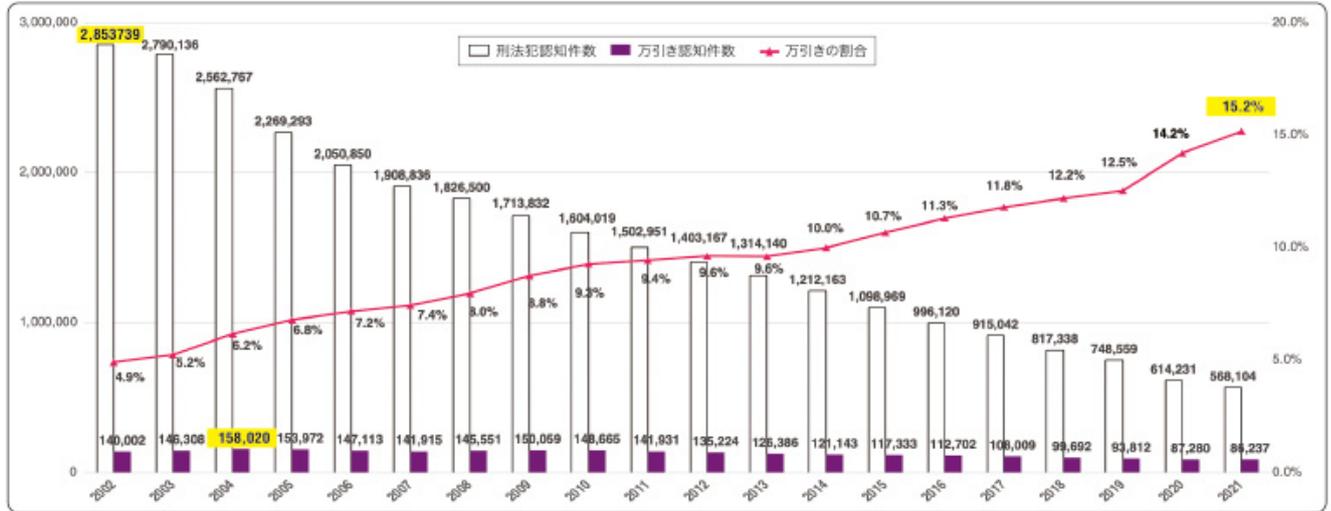
講習内容はE.A.S.機器に関するものだけでなく、防犯カメラや顔認証システム、保安警備業務、防犯機器の市場調査結果など、さまざまな最新情報を学ぶことができます。第7回J.E.A.S.講習会は7月14日に「必須の基礎知識習得」のテーマで開催予定です。聴講をご希望の方はJ.E.A.S.事務局までご連絡ください。

私は警備の現場や各種会議などを通じ、警備業の皆さまから保安警備に関する多くのことを学んできました。当協会の特別会員である全国警備業協会や、会員のセコムセフトHD、ゴジウウエイ、日本保安JSSなど警備会社との連携は今後も不可欠と感じています。(聞き手・瀬戸雅彦)

高千穂交易
 ●設立：1952年 ●代表取締役社長：井出尊信 ●本社：東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F ●業務：技術商社としてセキュリティ機器など先端商品を紹介 ●従業員数：487人(連結/2022年3月末実績)

万引に関する最新統計

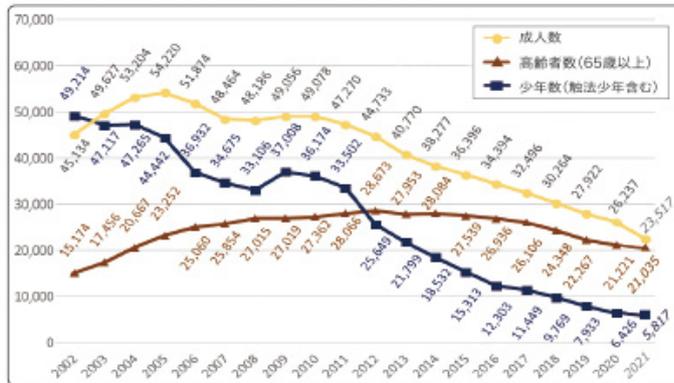
■万引き犯罪統計資料 全刑法犯に占める万引きの割合 (警察庁統計)



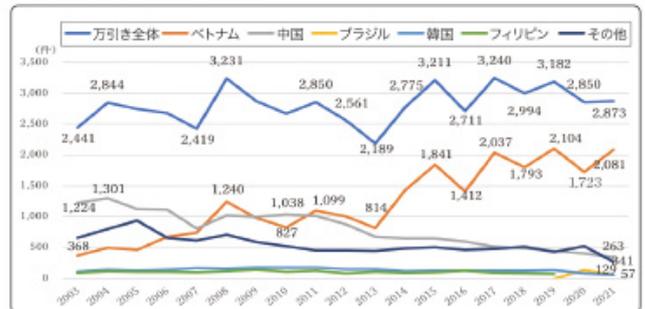
■万引き認知・検挙状況 (2011-2021の推移)

年次	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
認知件数	141,931	135,224	126,386	121,143	117,333	112,702	108,009	99,692	93,812	87,290	86,237
検挙件数	104,516	97,841	89,910	86,784	82,557	78,131	75,257	71,330	65,814	62,609	63,493
検挙率	73.6	72.4	71.1	71.6	70.4	69.3	69.7	71.6	70.2	71.7	73.6
検挙人員	101,340	93,079	85,464	80,096	75,114	69,879	66,154	61,061	55,337	51,622	50,369

■全国の万引き検挙・補導人数 (警察庁統計)



■来日外国人の検挙件数



国籍別ではベトナム人が突出しており、全体の検挙件数の72.4%を占めている。逮捕者1人当たり、3.2件の検挙件数になり、ドラッグストアなどを狙った集団窃盗が依然として横行していることがデータで如実に表れており、外国人の万引き防止と摘発の対策が急務となっている。